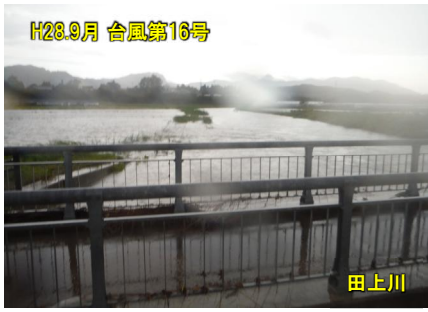


○これまで管内の流域では、平成13年の台風21号などにより甚大な被害が発生しており、さらに今後の気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、国・県・市町村・企業など流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させるためのハード対策やソフト対策を盛り込んだ「流域治水プロジェクト」に基づき、**流域治水を推進**していく。

○**清武川水系など8水系**において、流域治水を推進していくことで、災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる災害に強い地域づくりの実現に取り組んでいく。

主要な出水被害

平成13年10月	台風第21号
平成16年6月・8月	台風第4号・台風第16号
平成17年9月	台風第14号
平成28年9月	台風第16号
平成29年9月・10月	台風第18号・台風第22号
平成30年9月	台風第24号
令和3年9月	豪雨



対象水系

- 1)石崎川水系
- 2)清武川水系
- 3)加江田川水系
- 4)知福川水系
- 5)突浪川水系
- 6)内海川水系
- 7)野島川水系
- 8)小内海川水系



流域の関係者



- ▶ **宮崎市** (土木課、都市計画課、危機管理課、森林水産課、農村整備課、下水道整備課、清武総合支所 農林建設課、佐土原総合支所 農林建設課、田野総合支所 農林建設課)
- ▶ **森林研究・整備機構 森林整備センター 宮崎水源林整備事務所**
- ▶ **宮崎県** (宮崎土木事務所、中部農林振興局、河川課、都市計画課、砂防課、危機管理課、建築住宅課、自然環境課、森林経営課、農村計画課、農村整備課)

流域治水プロジェクトの内容

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 洪水氾濫対策
- 土砂災害対策
- 森林の整備・保全、治山施設の整備
- 流域の雨水貯留機能の向上
- 高潮、地震・津波対策

2. 被害対象を減少させるための対策

- リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫
- まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

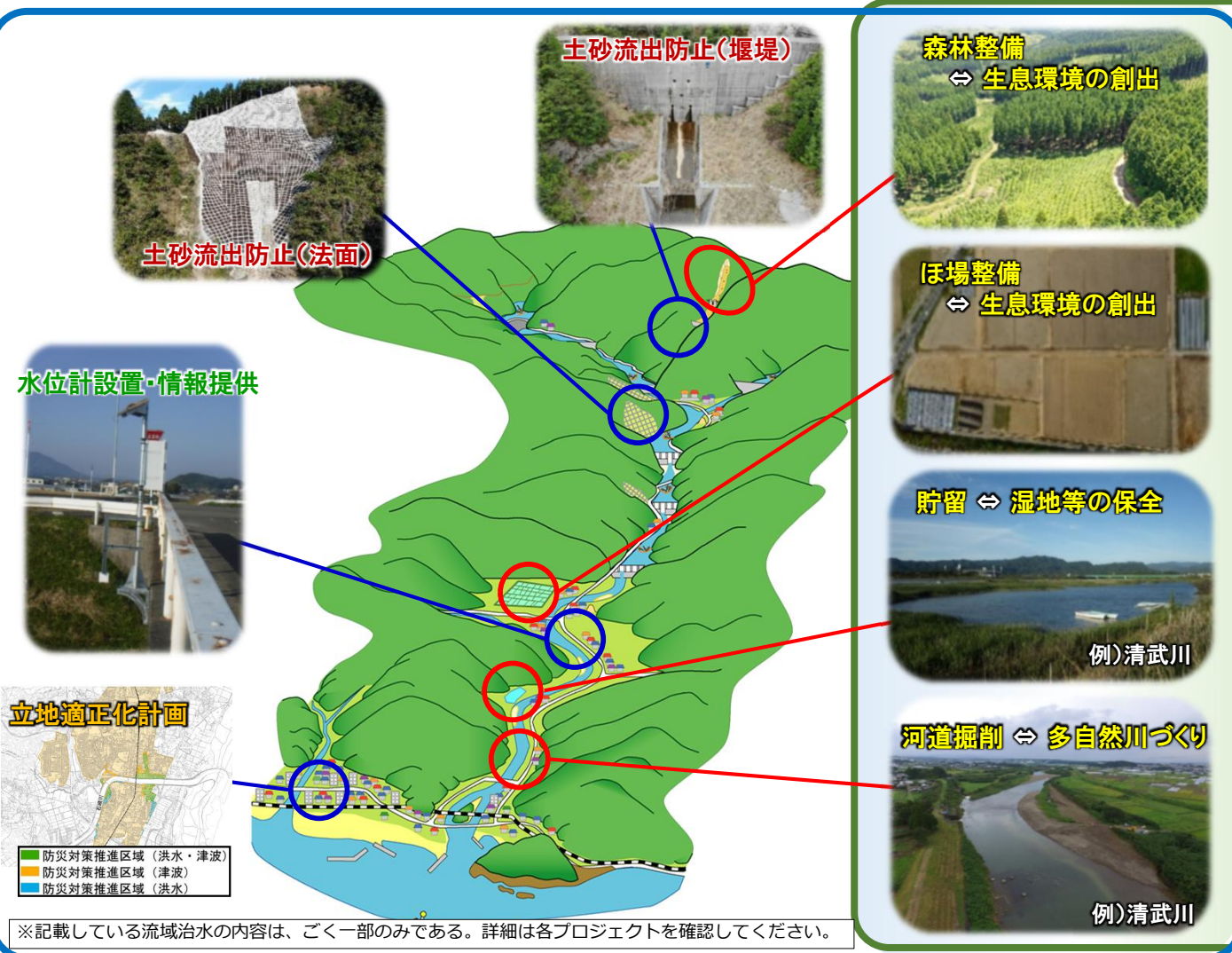
- リスク情報の提供・提供
- 防災・避難体制の強化
- 防災学習・啓発の推進
- 早期復旧・復興への備え

- 自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める**グリーンインフラ**を取り入れた**流域治水**に取り組んでいく。
- 流域の風土・歴史・文化を踏まえ、河川の有する多様な機能を十分に発揮し、**災害発生の防止**、**河川の利用**、**流水の正常な機能の維持**及び**河川環境の整備・保全**により、グリーンインフラの取組を推進する。

流域治水の取組



グリーンインフラの取組



森林整備
⇔ 生息環境の創出

ほ場整備
⇔ 生息環境の創出

貯留 ⇔ **湿地等の保全**
例)清武川

河道掘削 ⇔ **多自然川づくり**
例)清武川

- 治水対策における多自然川づくり**
 - ・生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出 (瀬、淵、河畔、ワンド等の保全)
 - ・河川景観の保全・創出
- 自然環境の保全・復元などの自然再生**
 - ・湿地等の貴重な自然環境の保全
 - ・生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出
- 魅力ある水辺空間・賑わい空間創出**
 - ・川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組**
 - ・水辺空間のレジャー等の利用
 - ・小中学生や任意団体等による環境学習



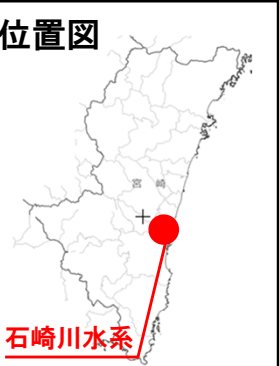
※記載している流域治水の内容は、ごく一部のみである。詳細は各プロジェクトを確認してください。

石崎川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、石崎川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。 測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf151】



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 【洪水氾濫対策】
- ・ 河川改修（護岸整備、橋梁架替等）
 - ・ 河道掘削、樹木伐採等
 - ・ 農業用河川工作物（可動堰）の撤去
 - ・ 海岸保全施設の整備、掘削土砂の活用
- 【土砂災害対策】
- ・ 砂防ダムの整備等
- 【森林の整備・保全、治山施設の整備】
- ・ 下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】
- ・ ため池の改修、土砂浚渫等
 - ・ ほ場整備等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- 【リスク情報の提供・充実】
- ・ 洪水浸水想定区域図の作成・データの提供等
 - ・ 洪水ハザードマップの作成等
 - ・ マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進等
 - ・ ため池ハザードマップの周知等
 - ・ 水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供等
- 【防災・避難体制の強化】
- ・ 防災士養成研修の実施等
 - ・ ハザードマップやタイムラインを活用した防災訓練の実施・支援等
 - ・ 要配慮者利用施設における避難確保計画の策定支援等
 - ・ 防災情報の共有
- 【防災学習・啓発の推進】
- ・ 出前講座・防災学習の実施（防災の日・防災週間）等
 - ・ 小学校等と連携した防災学習の推進による水防災意識の醸成等
- 【早期復旧・復興への備え】
- ・ 樋門・樋管等の確実かつ効率的な運用を行うための検証等
 - ・ 新たな洪水浸水想定区域図を踏まえ、水防倉庫やアクセス路の見直し等
 - ・ 公共施設・ライフライン等の機能維持対策の検討等



- 被害対象を減少させるための対策**
- 【リスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫】
- ・ 災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定
- 【まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実】
- ・ 土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化



■ グリーンインフラの取組
※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

石崎川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

● 石崎川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する

【短期】

- 石崎川本川における浸水被害を未然に防ぐため、土砂堆積の著しい箇所への河道掘削を実施することで、水位低下を図る。支川においても、土砂堆積状況を注視しながら、必要に応じて河道掘削を実施する。

【短期～中長期】

- 石崎川本川上流部及び支川の御手洗川・野田川においては、河道が狭く、流下能力不足により浸水被害が発生する恐れがあることから、河川改修を継続的に実施することで、早期に地域の安全性の向上を図る。
- 石崎川流域における荒廃地域の保全を行うとともに、下流河川の河床上昇を防ぎ、土砂流出による災害から人命等を守ることを目的として砂防ダムの整備を実施する。
- 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- 今後の人口減少、少子超高齢化社会の到来を見据え、多様な都市機能を各拠点に集約するとともに、災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外し、緩やかな居住区域の誘導を図る。また、宮崎市独自の「防災対策推進区域」を設定することで、防災・減災対策の推進や災害リスクを周知する。
- 洪水浸水想定区域図の未作成河川における洪水浸水想定区域図作成及びハザードマップの整備による防災情報の充実を図る。

■ 河川対策 (約 10 億円)
■ 砂防対策 (約 4 億円)

ロードマップ (令和7年度時点)			工程		
区分	対策内容	実施主体	短期	中期	中長期
災害をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県、宮崎市	河川改修(護岸整備・橋梁架替等)		
		宮崎県	河道掘削・樹木伐採等		
	土砂災害対策	宮崎市	農業用河川工作物(可動堰)の撤去		
		宮崎県	砂防ダムの整備等		
	森林の整備・保全、治山施設の整備	宮崎県、宮崎市	下刈り・間伐・再造林、水源地造成、治山ダム、山腹工等		
	流域の雨水貯留機能の向上	宮崎県	ため池の改修、土砂浚渫等		
被害対象を減少させるための対策	リスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫	宮崎市	災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定		
	まちづくりでの活用を視野にした土地の防災情報の充実	宮崎県	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	宮崎県	洪水浸水想定区域図の作成・データの提供等		
		宮崎市	洪水ハザードマップの作成等		
		宮崎県、宮崎市	マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進等		
		宮崎県、宮崎市	ため池ハザードマップの周知等		
		宮崎県	水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供等		
		宮崎県、宮崎市	防災士養成研修の実施等		
	防災・避難体制の強化	宮崎県、宮崎市	ハザードマップやタイムラインを活用した防災訓練の実施・支援等		
		宮崎市	新たな洪水浸水想定区域図を踏まえた避難経路・避難場所の見直し等		
		宮崎市	要配慮者利用施設における避難確保計画の策定及び防災訓練等の支援等		
	防災学習・啓発の推進	宮崎県、宮崎市	防災情報の共有		
		宮崎県、宮崎市	出前講座・防災学習の実施(防災の日・防災週間)等		
		宮崎県、宮崎市	教育委員会・小・中学校等と連携した防災学習の推進による水防災意識の醸成等		
早期復旧・復興への備え	宮崎県、宮崎市	既存の橋脚・樋管・排水施設等の確実かつ効率的な運用を行うための検証・体制の確認等			
	宮崎県、宮崎市	新たな洪水浸水想定区域図を踏まえ、水防倉庫やアクセス路の見直し等			
	宮崎県、宮崎市	公共施設・ライフライン等の機能維持対策の検討等			
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	宮崎県	生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出(瀬・淵・河畔・ワンド等の保全)		
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、宮崎市	河川景観の保全・創出		
		宮崎県、宮崎市	湿地等の貴重な自然環境の保全		
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県	生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、宮崎市	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持		
			水辺空間のレジャー等の利用		
			小中学生や任意団体等による環境学習		

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

石崎川水系流域治水プロジェクト【取組状況】 令和7年度

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数／対象項目数】：**10／10** ■取組率：**100%**

宮崎市 建設部土木課	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河川改修

【概要】

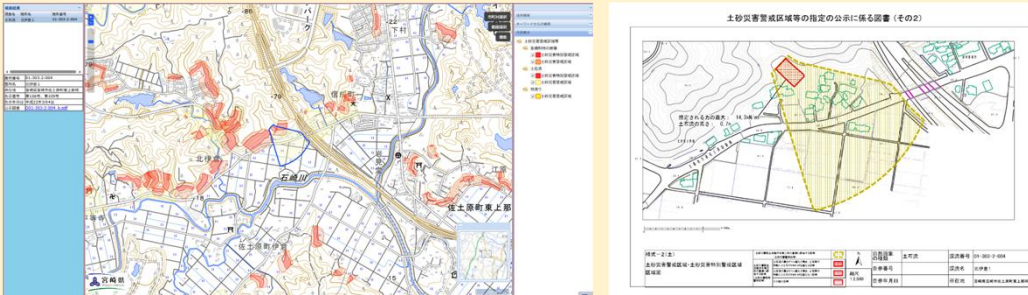
- 準用河川野田川は、河川断面が小さく流下能力が低い河川であり、大雨時に、周辺家屋や農地への被害が生じないよう、護岸整備を実施した。
- 次年度以降も、緊急自然災害防止対策において引き続き実施していく。



2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数／対象項目数】：**2／2** ■取組率：**100%**

- ・土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき基礎調査を実施中
- ・指定箇所は県HPで公表し、ハザードマップへの反映を依頼



3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数／対象項目数】：**24／24** ■取組率：**100%**

- ・宮崎県防災情報共有システムにより防災情報の共有

システムの概要 | システムのイメージ

宮崎県防災情報共有システム

組識、部局・バックアップ情報 | 各対応業務で使える地図

異種情報の統合

- 集約・地図化
- 共通の状況図
- 情報を視覚的に把握
- 情報の分析や対策立案に寄与

共有システム画面

4. グリーンインフラ

■【実施数／対象項目数】：**7／11** ■取組率：**64%**

宮崎県 宮崎土木事務所	【大項目】区分	4. グリーンインフラ
	【中項目】対策内容	自然環境の保全・復元などの自然再生
	【小項目】対策メニュー	特定外来生物（オオフサモ）の除去

○特定の河川において、特定外来生物に指定されているオオフサモの繁殖が確認されているため、治水上・生態系の悪影響を回避するために、定期的に除去する。

御手洗川の例

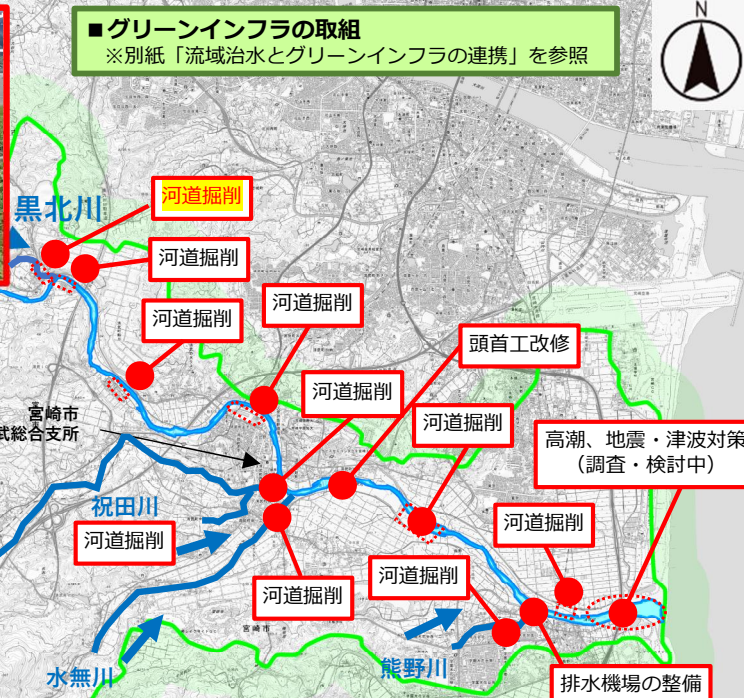


清武川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

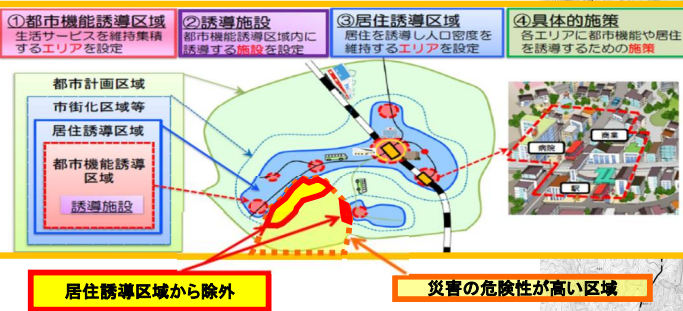
○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、清武川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。 測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf151】



■グリーンインフラの取組
※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 【洪水氾濫対策】
 - ・河道掘削、樹木伐採等
 - ・排水機場の整備等
 - 【高潮、地震・津波対策】
 - ・堤防の地震対策等
 - 【森林の整備・保全、治山施設の整備】
 - ・下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工等
 - 【流域の雨水貯留機能の向上】
 - ・ため池の改修、土砂浚渫等
 - ・ほ場整備、排水機場の整備等



- 被害対象を減少させるための対策
- 【リスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫】
 - ・災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定
 - 【まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実】
 - ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 【リスク情報の提供・充実】
 - ・洪水浸水想定区域図の作成・データの提供等
 - ・洪水ハザードマップの作成等
 - ・マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進等
 - ・ため池ハザードマップの周知等
 - ・水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供等
 - 【防災・避難体制の強化】
 - ・防災土養成研修の実施等
 - ・ハザードマップやタイムラインを活用した防災訓練の実施・支援等
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の策定支援等
 - ・防災情報の共有
 - 【防災学習・啓発の推進】
 - ・出前講座・防災学習の実施（防災の日・防災週間）等
 - ・小学校等と連携した防災学習の推進による水防災意識の醸成等
 - 【早期復旧・復興への備え】
 - ・樋門・樋管等の確実かつ効率的な運用を行うための検証等
 - ・新たな洪水浸水想定区域図を踏まえ、水防倉庫やアクセス路の見直し等
 - ・公共施設・ライフライン等の機能維持対策の検討等

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

清武川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

● 清武川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

・ 流域内の人口が集中している清武川本川（宮崎市～清武町）区間における浸水被害を未然に防ぐため、土砂堆積の著しい箇所の河道掘削を実施することで、水位低下を図る。支川においても、土砂堆積状況を注視しながら、必要に応じて河道掘削を実施する。

【短期～中長期】

- ・ 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- ・ 今後の人口減少、少子超高齢化社会の到来を見据え、多様な都市機能を各拠点に集約するとともに、災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外し、緩やかな居住区域の誘導を図る。また、宮崎市独自の「防災対策推進区域」を設定することで、防災・減災対策の推進や災害リスクを周知する。
- ・ 洪水浸水想定区域図の未作成河川における洪水浸水想定区域図作成及びハザードマップの整備による防災情報の充実を図る。

■ 河川対策 (約 17 億円)

ロードマップ (令和7年度時点)			工程		
区分	対策内容	実施主体	短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河道掘削・樹木伐採・排水機場の整備 等		
	高潮、地震・津波対策	宮崎県		堤防の地震対策 等	
	森林の整備・保全、治山施設の整備	宮崎県、宮崎市、森林整備センター		下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工 等	
	宮崎市			ため池の改修、土砂浚渫 等	
	流域の雨水貯留機能の向上	多面的機能支払活動組織		多面的機能支払制度等の活用	
被害対象を減少させるための対策	リスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫	宮崎市		災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定	
	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実	宮崎県		土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	宮崎県		洪水浸水想定区域図の作成・データの提供 等	
		宮崎市		洪水ハザードマップの作成 等	
		宮崎県、宮崎市		マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進 等	
		宮崎県、宮崎市		ため池ハザードマップの周知 等	
		宮崎県		水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等	
		宮崎県、宮崎市		防災士養成研修の実施 等	
	防災・避難体制の強化	宮崎県、宮崎市		ハザードマップやタイムラインを活用した防災訓練の実施・支援 等	
		宮崎市		新たな洪水浸水想定区域図を踏まえた避難路・避難場所の見直し 等	
		宮崎市		要配慮者利用施設における避難確保計画の策定及び防災訓練等の支援 等	
		宮崎県		防災情報の共有	
		宮崎県、宮崎市		出前講座・防災学習の実施(防災の日・防災週間) 等	
	防災学習・啓発の推進	宮崎県、宮崎市		教育委員会・小中学校等と連携した防災学習の推進による水防災意識の醸成 等	
		宮崎県、宮崎市		既存の種門・植管・排水施設等の確実かつ効率的な運用を行うための検証・体制の確立 等	
早期復旧・復興への備え	宮崎県、宮崎市		新たな洪水浸水想定区域図を踏まえ、水防倉庫やアクセス路の見直し 等		
	宮崎県、宮崎市		公共施設・ライフライン等の機能維持対策の検討 等		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	宮崎県	生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出(瀬、淵、河畔、ワンド等の保全)		
			河川景観の保全・創出		
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、宮崎市、森林整備センター	湿地等の貴重な自然環境の保全		
			生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出		
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、宮崎市	水辺空間のレジャー等の利用		
		小中学生や任意団体等による環境学習			

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

清武川水系流域治水プロジェクト【取組状況】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

令和7年度

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数／対象項目数】：8／8 ■取組率：100%

森林整備センター	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
 ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します

水源林の整備



針広混交林

育成複層林

令和7年度実績

植栽	下刈	除伐	間伐	作業道
	11ha			

2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数／対象項目数】：2／2 ■取組率：100%

- 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき基礎調査を実施中
- 指定箇所は県HPで公表し、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
 HP：www.sabomap/miyazaki



公表されている公示図書の一部

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数／対象項目数】：24／24 ■取組率：100%

- 宮崎県防災情報共有システムにより防災情報の共有

システムの概要

共有システム画面

システムのイメージ

- 集約・地図化
→共通の状況図
- 情報を視覚的に把握
→情報の分析や対策立案に寄与

4. グリーンインフラ

■【実施数／対象項目数】：7／13 ■取組率：54%

宮崎県 宮崎土木事務所	【大項目】区分	4. グリーンインフラ
	【中項目】対策内容	治水対策における多自然川づくり
	【小項目】対策メニュー	生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出

河道掘削工事の実施に際しては、瀬や淵、ワンドの保全、流速の多様性、河床材料の多様性等、治水のみではなく、河川に生息する生物に配慮した施工を行う。

井倉川の例

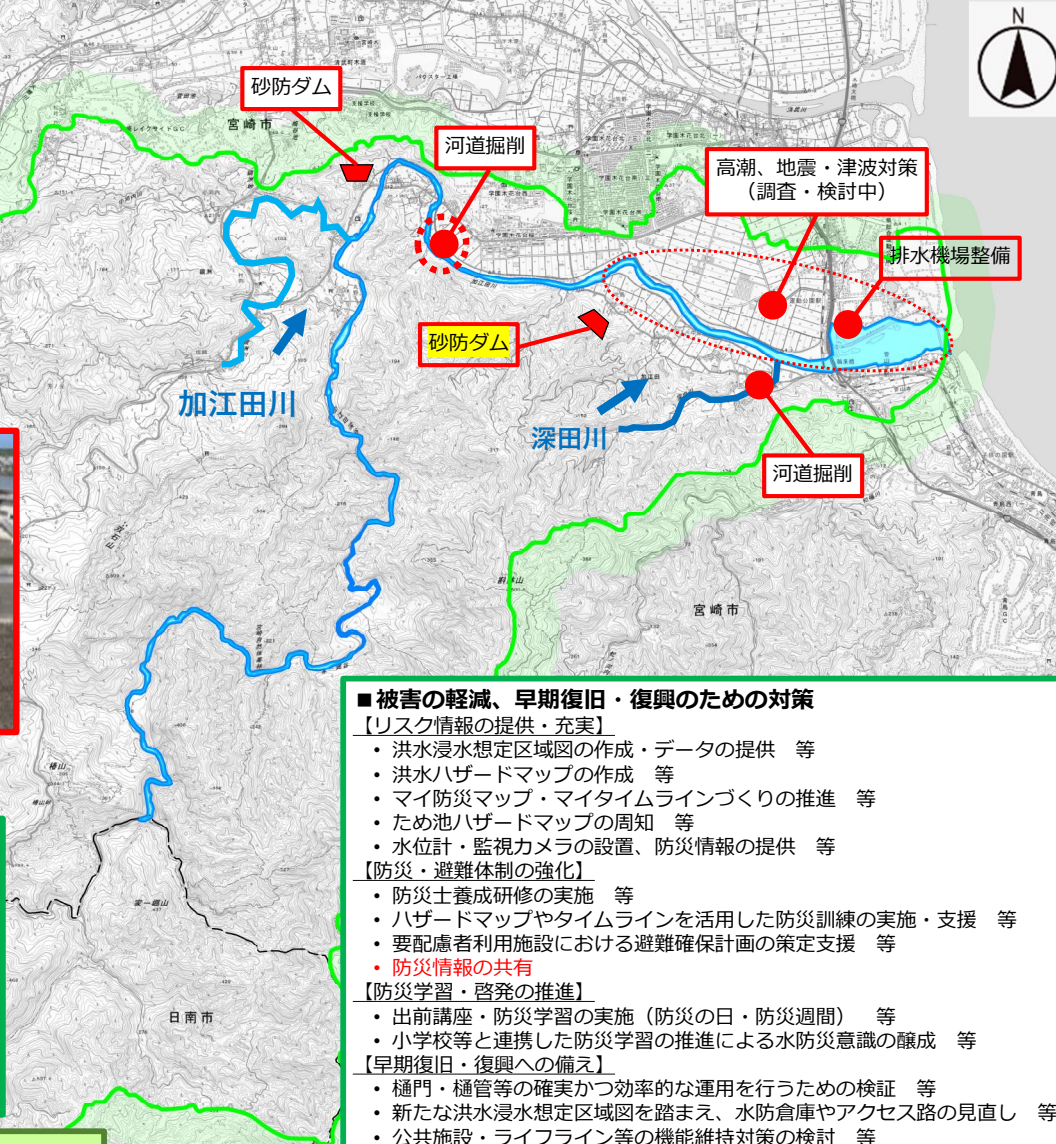


加江田川水系流域治水プロジェクト【位置図】

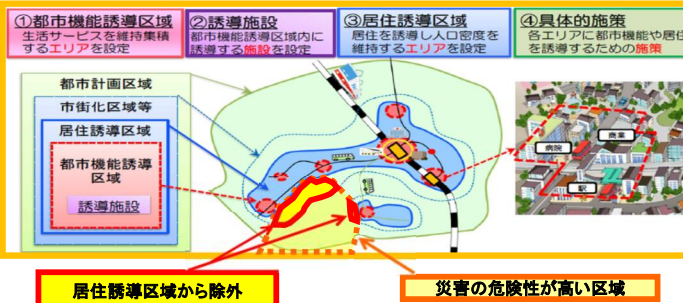
～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、加江田川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。 測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf151】



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 【洪水氾濫対策】
 - ・河道掘削、樹木伐採 等
 - 【高潮、地震・津波対策】
 - ・堤防の地震対策 等
 - 【土砂災害対策】
 - ・砂防ダムの整備 等
 - 【森林の整備・保全、治山施設の整備】
 - ・下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工 等
 - 【流域の雨水貯留機能の向上】
 - ・ため池の改修、土砂浚渫 等
 - ・ほ場整備、排水機場の整備 等



- 被害対象を減少させるための対策
- 【リスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫】
 - ・災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定
 - 【まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実】
 - ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

■ グリーンインフラの取組
※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 【リスク情報の提供・充実】
 - ・洪水浸水想定区域図の作成・データの提供 等
 - ・洪水ハザードマップの作成 等
 - ・マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進 等
 - ・ため池ハザードマップの周知 等
 - ・水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等
 - 【防災・避難体制の強化】
 - ・防災士養成研修の実施 等
 - ・ハザードマップやタイムラインを活用した防災訓練の実施・支援 等
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の策定支援 等
 - ・防災情報の共有
 - 【防災学習・啓発の推進】
 - ・出前講座・防災学習の実施（防災の日・防災週間） 等
 - ・小学校等と連携した防災学習の推進による水防災意識の醸成 等
 - 【早期復旧・復興への備え】
 - ・樋門・樋管等の確実かつ効率的な運用を行うための検証 等
 - ・新たな洪水浸水想定区域図を踏まえ、水防倉庫やアクセス路の見直し 等
 - ・公共施設・ライフライン等の機能維持対策の検討 等

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

加江田川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

● 加江田川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

・加江田川本川における浸水被害を未然に防ぐため、土砂堆積の著しい箇所の河道掘削を実施することで、水位低下を図る。
支川においても、土砂堆積状況を注視しながら、必要に応じて河道掘削を実施する。

【短期～中長期】

- ・加江田川流域における荒廃地域の保全を行うとともに、下流河川の河床上昇を防ぎ、土砂流出による災害から人命等を守ることを目的として砂防ダムの整備を実施する。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- ・今後の人口減少、少子超高齢化社会の到来を見据え、多様な都市機能を各拠点に集約するとともに、災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外し、緩やかな居住区域の誘導を図る。また、宮崎市独自の「防災対策推進区域」を設定することで、防災・減災対策の推進や災害リスクを周知する。
- ・洪水浸水想定区域図の未作成河川における洪水浸水想定区域図作成及びハザードマップの整備による防災情報の充実を図る。

■ 河川対策 (約 18 億円)
■ 砂防対策 (約 2 億円)

ロードマップ (令和7年度時点)			工程		
区分	対策内容	実施主体	短期	中期	中長期
災害をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河道掘削・樹木伐採等		
	高潮、地震・津波対策	宮崎県		堤防の地震対策等	
	土砂災害対策	宮崎県		砂防ダムの整備等	
	森林の整備・保全、治山施設の整備	宮崎県、宮崎市		下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工等	
	流域の雨水貯留機能の向上	宮崎市		ため池の改修、土砂湛滞等	
		多面的機能支払活動組織		多面的機能支払制度等の活用	
		宮崎県		ほ場整備、農業用ため池整備、排水機場の整備等	
被害対象を減少させるための対策	リスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫	宮崎市		災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定	
	まちづくりでの活用を視野にした土地の防災情報の充実	宮崎県		土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	宮崎県		洪水浸水想定区域図の作成・データの提供等	
		宮崎市		洪水ハザードマップの作成等	
		宮崎県、宮崎市		マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進等	
	防災・避難体制の強化	宮崎県、宮崎市		ため池ハザードマップの周知等	
		宮崎県		水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供等	
		宮崎県、宮崎市		防災士養成研修の実施等	
		宮崎県、宮崎市		ハザードマップやタイムラインを活用した防災訓練の実施・支援等	
	防災学習・啓発の推進	宮崎市		新たな洪水浸水想定区域図を踏まえた避難路・避難場所の見直し等	
		宮崎市		要配慮者利用施設における避難確保計画の策定及び防災訓練等の支援等	
	早期復旧・復興への備え	宮崎県		防災情報の共有	
		宮崎県、宮崎市		出前講座・防災学習の実施(防災の日・防災週間)等	
		宮崎県、宮崎市		教育委員会・小学校等と連携した防災学習の推進による水防災意識の醸成等	
		宮崎県、宮崎市		既存の種門・種管・排水施設等の確実かつ効率的な運用を行うための検証・体制の確認等	
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	宮崎県		生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出(瀬、淵、河畔、ワンド等の保全)	
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、宮崎市		河川景観の保全・創出	
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県		湿地等の貴重な自然環境の保全	
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、宮崎市		生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出	
		宮崎県		川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持	
	宮崎県、宮崎市		水辺空間のレジャー等の利用		
	宮崎県、宮崎市		小中学生や任意団体等による環境学習		

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

加江田川水系流域治水プロジェクト【取組状況】 令和7年度

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数／対象項目数】：8／8 ■取組率：100%

宮崎県中部農林振興局	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	排水機場整備、ほ場整備、農業用ため池整備

R7年度実績	
排水機場	1箇所
事業費	145百万円

排水機場整備 正蓮寺地区

実施前



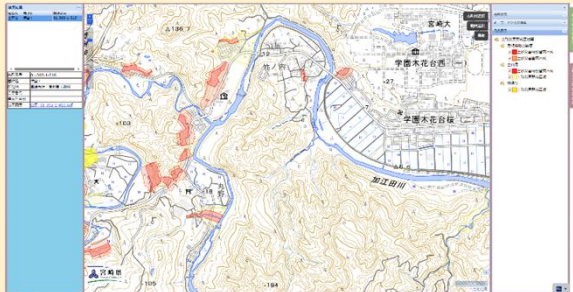
実施後



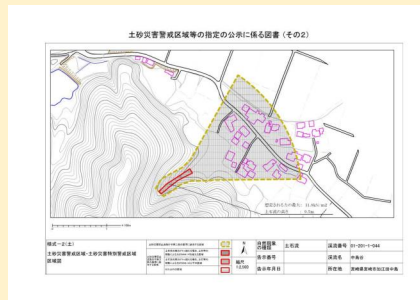
2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数／対象項目数】：2／2 ■取組率：100%

- 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき基礎調査を実施中
- 指定箇所は県HPで公表し、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
HP：www.sabomap/miyazaki



公表されている公示図書の一部

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数／対象項目数】：24／24 ■取組率：100%

- 宮崎県防災情報共有システムにより防災情報の共有

システムの概要

宮崎県防災情報共有システム

共有システム画面

システムのイメージ

異種情報の統合

- 集約・地図化
- 共通の状況図
- 情報を視覚的に把握
- 情報の分析や対策立案に寄与

4. グリーンインフラ

■【実施数／対象項目数】：7／11 ■取組率：64%

宮崎県 宮崎土木事務所	【大項目】区分	4. グリーンインフラ
	【中項目】対策内容	治水対策における多自然川づくり
	【小項目】対策メニュー	河川景観の保全・創出

河道掘削工事の実施に際しては、瀬や淵、ワンドの保全、流速の多様性、河床材料の多様性等、治水のみではなく、河川に生息する生物に配慮した施工を行うことで、良好な河川景観の保全及び創出を目指す。

加江田川の例



ワンド及び水制工の設置

宮崎地区その他水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、知福川水系など5水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

【この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。 測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHF524】



位置図



対象5水系

【対象水系】

- ① 知福川水系
- ② 突浪川水系
- ③ 内海川水系
- ④ 野島川水系
- ⑤ 小内海川水系

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫対策】

- ・ 河道掘削、樹木伐採 等
- ・ 護岸整備 等

【森林の整備・保全、治山施設の整備】

- ・ 下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工 等

■ 被害対象を減少させるための対策

【リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫】

- ・ 災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定

【まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実】

- ・ 土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化



■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【リスク情報の提供・充実】

- ・ 洪水浸水想定区域図の作成・データの提供 等
- ・ 洪水ハザードマップの作成 等
- ・ マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進 等
- ・ 水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等

【防災・避難体制の強化】

- ・ 防災士養成研修の実施 等
- ・ ハザードマップやタイムラインを活用した防災訓練の実施・支援 等
- ・ 要配慮者利用施設における避難確保計画の策定支援 等
- ・ 防災情報の共有

【防災学習・啓発の推進】

- ・ 出前講座・防災学習の実施（防災の日・防災週間） 等
- ・ 小学校等と連携した防災学習の推進による水防災意識の醸成 等

【早期復旧・復興への備え】

- ・ 樋門・樋管等の確実かつ効率的な運用を行うための検証 等
- ・ 新たな洪水浸水想定区域図を踏まえ、水防倉庫やアクセス路の見直し 等
- ・ 公共施設・ライフライン等の機能維持対策の検討 等

■ グリーンインフラの取組

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

宮崎地区その他水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

● 知福川など5河川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

■ 河川対策 (約 2億円)

- 知福川などにおける浸水被害を未然に防ぐため、土砂堆積の著しい箇所への河道掘削を実施することで、水位低下を図る。支川においても、土砂堆積状況を注視しながら、必要に応じて河道掘削を実施する。
- 知福川など、浸水被害が発生した河川において、再度被災防止のための浸水対策を検討し、必要に応じて護岸嵩上げ等の対策を実施する。

【短期～中長期】

- 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- 今後の人口減少、少子超高齢化社会の到来を見据え、多様な都市機能を各拠点に集約するとともに、災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外し、緩やかな居住区域の誘導を図る。また、宮崎市独自の「防災対策推進区域」を設定することで、防災・減災対策の推進や災害リスクを周知する。
- 洪水浸水想定区域図の未作成河川における洪水浸水想定区域図作成及びハザードマップの整備による防災情報の充実を図る。

ロードマップ(令和7年度時点)			工程			
区分	対策内容	実施主体	短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河道掘削・樹木伐採・護岸整備等			
	森林の整備・保全、治山施設の整備	宮崎県、宮崎市、森林整備センター		下刈り・間伐・再造林、水源林造成、治山ダム、山腹工等		
	流域の雨水貯留機能の向上	多面的機能支払活動組織		多面的機能支払制度等の活用		
被害対象を減少させるための対策	リスクの低いエリアへ誘導/住まいの工夫	宮崎市		災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定		
	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実	宮崎県		土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスク情報の提供・充実	宮崎県		洪水浸水想定区域図の作成・データの提供等		
		宮崎市		洪水ハザードマップの作成等		
		宮崎県、宮崎市		マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進等		
	防災・避難体制の強化	宮崎県			水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供等	
		宮崎県、宮崎市			防災士養成研修の実施等	
		宮崎県、宮崎市			ハザードマップやタイムラインを活用した防災訓練の実施・支援等	
		宮崎市			新たな洪水浸水想定区域図を踏まえた避難路・避難場所の見直し等	
		宮崎市			要配慮者利用施設における避難確保計画の策定及び防災訓練等の支援等	
	防災学習・啓発の推進	宮崎県			防災情報の共有	
		宮崎県、宮崎市			出前講座・防災学習の実施(防災の日・防災週間)等	
		宮崎県、宮崎市			教育委員会・小学校等と連携した防災学習の推進による水防災意識の醸成等	
	早期復旧・復興への備え	宮崎県、宮崎市			既存の樋門・樋管・排水施設等の確実かつ効率的な運用を行うための検証・体制の確認等	
		宮崎県、宮崎市			新たな洪水浸水想定区域図を踏まえ、水防倉庫やアクセス路の見直し等	
宮崎県、宮崎市				公共施設・ライフライン等の機能維持対策の検討等		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	宮崎県		生物の多様な生態、生育、繁殖環境の保全・創出(瀬、淵、河畔、ワンド等の保全)		
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、宮崎市、森林整備センター		河川景観の保全・創出		
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県		湿地等の貴重な自然環境の保全		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、宮崎市		生物の多様な生態、生育、繁殖環境の保全・創出		
		宮崎県		川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持		
	宮崎県、宮崎市			水辺空間のレジャー等の利用		
				小中学生や任意団体等による環境学習		

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

宮崎地区その他水系流域治水プロジェクト【取組状況】 令和7年度 ～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数／対象項目数】：5／5 ■取組率：100%

宮崎市 建設部土木課	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河川改修



着手前



完了

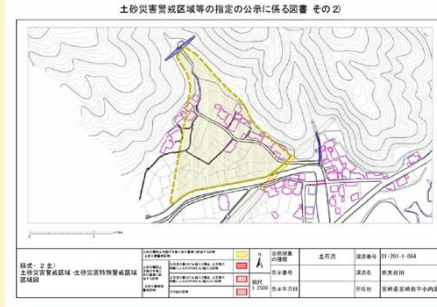
2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数／対象項目数】：2／2 ■取組率：100%

- 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき基礎調査を実施中
- 指定箇所は県HPで公表し、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
HP：www.sabomap/miyazaki



公表されている公示図書の一部

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数／対象項目数】：22／22 ■取組率：100%

- 宮崎県防災情報共有システムにより防災情報の共有

システムの概要

共有システム画面

システムのイメージ

共通の状況図

- 集約・地図化
- 情報を視覚的に把握
- 情報の分析や対策立案に寄与

4. グリーンインフラ

■【実施数／対象項目数】：7／13 ■取組率：54%

宮崎県 宮崎土木事務所	【大項目】区分	4. グリーンインフラ
	【中項目】対策内容	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出
	【小項目】対策メニュー	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持

○本計画対象河川は自然豊かな河川が多く、河川プールやボートなどのレジャーに利用されている。親しみやすい空間を維持するために、河道掘削や草刈り等を継続的に行う。

知福川の例



着手前



着手後